京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜報

●樺太の化學工業

樺太に於ける各種の化學工業は乾留、蒸留、釀造の三種に區別して施行中なるが其内釀造即ち木より酒を釀造することは中川事務官を米國に派して同事業を視察せしめ釀造方法に關する特許權を讓り受けんとせしも財政上の都合に依り一時之を中止するに至りたり蒸留試驗は人工樟腦採取良好なれば明年度は大規模の試驗を爲す筈なり乾留試驗は三箇中の大事業にして明年一月には工事も落成すべき豫定なるが同事業は樺太は重に針葉樹のみなるを以て第一にクレゾン油を取り順次アルコール、醋酸、タールを採り最終の殘物を木炭として燃料に供用することゝなるなり樺太現在の森林は優に百年間の材料を供給し得べき餘力あるを以て輪伐其他適當なる方法に依るに於ては未來永劫材料の不足を告ぐるが如き憂ひ更に無く實地移民の集中に一大基礎を與ふることゝなるべし

●米國の農産物額

米國農務卿の報告に據れば本年の農産物價格は八十九億二千六百万弗にして玉蜀黍三十一億二千百三十八万ブッシェル此價格十五億弗棉花九億弗乾草一億二千弗小麥六億九千四百七十六萬ブッシェルにして其價格六億二千五百萬弗燕麥三億三千萬弗煙草九億六千七百十五萬斤其價格九千七百万弗にして棉花の輸出額は四億五十四萬七千萬弗なりと

●明年度廣軌工事

明年度は廣軌工事着手の初年なるを以て函館幷びに逢坂山新線の測量及び撰定、東海、山陽兩線を通じて各橋梁改築等凡て將來廣軌改築に必要なる設計をなし、各種の準備を爲すものなるが大阪京都の兩停車場の改築は一日も速かに竣成せしむる必要あるを以て是亦來年度より着手せらるべく次に京濱間は既に着手せる複々線の工事を進め來年度に於ては沿線全部の土工を終へ品川、大森、鶴見、川崎等各停車場の改築にも着手する筈なりと

●清國陸海軍管區

清國軍務當局は此程勅可を得て陸海軍の管區を改定せしが陸軍は分つて五路となし北路は直隷、山西、東三省、西路は甘肅、新疆、陝西、四川、東路は山東、江蘇、浙江、江西、中路は河南、湖南、湖北、南路は雲南、貴州、福建、廣東とし又水師も三路に分ち其北路を北洋艦隊、中路を長江、水師、南路を粤海艦隊と定めたり

●無線電話成功

露國人の發明に係る無線電話は四百哩の距離に達せりと

●清國の秘密演習

長春に於て擧行せる第三鎭大演習は外國人の參觀を一切謝絶し清國新聞記者は通信を嚴禁せられたりと

●清國の飛行機研究

清國政府にては目下列國に於て飛行器熱の盛なるに鑑み同術研究の目的を以て今回陸軍第一鎭に飛行器學堂を新設し差當り製造測藥の二科を置くことゝし來春早々より開始する筈なりと

●民團税滯納者

民團の税金に就ては納税期毎に滯納者頗る多く三萬の人々中督促令狀を受くるもの九分通りにて尤甚だしきは督促令狀に踵ぐに差押を爲すに非ざれば納付せざるものあり十三日民團役所より第二期税金（八月三十一日迄に納付すべきもの）滯納者の中先づ三十七名（此滯納金額八百六十三圓）に對して差押へに向ひたるに悉く現金を提供したりといふ此輩にして一片の公共心あらば斯くまで役所に手數を煩はさしめずとも貯へある金を納むべきに極端の手段を取るに非ざれば有つても拂はずとは能〳〵冷淡なりといふべし

●營林廠氷上運搬

營林廠各出張所に於ては此程より結氷を利用して木材運搬を開始せるが木廠の事務は却て閑散の時期となり平壤及京城に僅少の建築材を輸出するのみにて其他は薪用として端材の販賣を爲すに過ぎずと

雜錄

●僕の初感

秀峰

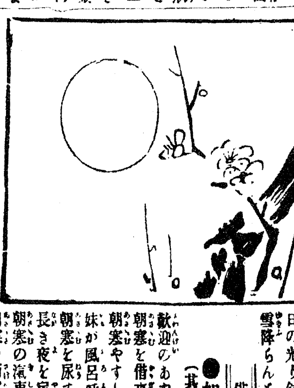
一個平凡の人間たる僕が京城に來て、併かも未だ住み馴れざる土地の觀察を吐露しようとするは餘りに大膽且つ又餘りに無謀ではあるまいか、然れども人間として自個の眼底に映じた、所謂●●●●ありのまゝを驅け出すは中々に趣味あることで、他山の石以て己れを責むべき徒の無にしもあらずであらう。

南大門驛に横はつた列車は一しきり烟筒の如く乘客を吐き出した、が手荷物扱所の淋しさは實に意外である、倩ら此は寒風吹き荒む大道に立ちて、倩ら此の朝鮮唯一の都會に入る人の身輕に驚くよりも寧ろ斯る都會が吸收する經濟上の力が斯く迄微弱であるかを悲んだ●●然り僕が入都第一着の觀察は先づうすつぺらなりとの印象を胸裡に疊み込んだ一事である。

此の身輕なる人々に依つて動かさるゝ京城よ、此の微弱なる經濟力に支配せらるゝ京城よ、汝は果して能く東亞の重鎮として宇内に雄飛する力ありしか否な大に否な、過般の併合を見る、洵に之れ當然の運命である、汝は今日始めて運命の光明に接し得たるもの、局んで蒼生の爲め感謝せずして可ならんやである。

●●●●●うすつぺらの語、即ち輕薄を意味し、無情を意味す、本町通の建築、バラックを塗り隱くしての安請諸の多き商品の露店式なる、役人店員の傲慢なるが多き、皆此タイプより出るのである。

倭城臺下の總督府、巍然として天空を摩するの大標は韓た日人の爲めに意を強ふするもの、道途劍を横たへて濶歩する武人を見る、敬虔の念自から起らざるを得ない、が、車站場裡の寂寞、空身の來往、微弱なる經濟力、僕は日人の前途頗る奮勵克己を要すべき或る物を自覺したのである。



和歌募集

勅題「寒月照梅花」

選者 九華館主 去留

何首にても随意、用紙用箋類も又御随意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮つて投詠せられんことを希ふ

十二月二日

本社編輯局

文苑

●暗潸

秀峰

暗潸と常世は暮るゝ思ひのみ爲る吾れの身の今宵も過ぎぬ。

人に媚び世に媚ぶ術を知らなくに獨り年經し吾れ憂かりける。

諸ひ行くアラランの八年老けて白衣に寒く冬の風吹く。

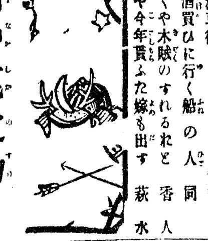
日の光り鈍き御寺の大銀杏落葉の窓に雪降らんとす。

俳句

●如月會納會句集（其の二）

ひら撰

歡迎のあたら花火を月夜かな　萩水
朝寒を借來し猫のそつと去ぬ　不美女
朝寒やすゝめの夫婦列ひ居る　彌生
妹が風呂呼や早稲田の夕戰き　萩水
朝寒を尿する女郎のくさき女哉　同
長き夜を宿直に明かす一間哉　春江
朝寒の汽車待プラットホーム哉　千世
朝寒や酒買ひに行く船の人　同
初嵐吹くや木賊のすれるれと　香人
早稲刈や今年貫ふた嫁も出す　萩水



山中鹿之助

第卅七回

西尾麟慶演

偖鹿之助は何事なるかと向ふの方を見ると雲つくばかりの大の男が年の頃十八九になります男を藤蔓にて縛し、其側に六十餘りの老婆が縋つて聲を擧げて助けを呼びます ○「助けるものが邪魔だ〳〵退かつしやい、何うしたッて仕方がねエ、サア早くやれ〳〵、之を殺してしまつて原仕事にゆかなければならねヱ」と云ふ鹿之助は立止つて暫く見て居りましたが 鹿「アレは何んであらう 名「ヘイアレは浪人者の子で御座ひます、此村へ參りまして父親はモー疾に亡くなりまして、彼の老婆と二人ぎり暮して居りましたが、遂に困るところからいたして、他の山の持主のある木を根てぎに致しまして……枯枝位ゐ取りますなら仕方が御座ひませんが、木を根こぎに致しました、此の後の事も御座ひますから當人を此處で村裁判……御領主様へ願ふと云つても遠い處で御座ひまして、迚も御領主様へ願つても取上げはありません、そんナ事で遠ひ御領主様まで願ひに出られませんから斯う云ふ時は處成敗を致す事になつて居りますから、村中の者が申し合せて彼を縛つて此處へ連て參り火あぶりに致します」と云ふ鹿之助之を聞て大に驚き 鹿「彼を見るに二十才にはなるまじ、何の位ゐの木を取つたか知らんが、人間一人火あぶりに致さんと云ふは容易ならん事だ…… 名「左やうで御座ひます木は一本では御座ひません凡そ七八本も拔ました…… 鹿「其木は何の位ゐのものである 名「ヘエ一本が五十位ゐより百位ゐに當つて居りますす 鹿「其位ゐのものか誠に氣の毒のものであると立止つて鹿之助、名主と話を致して居ります、早くも此の様子を見まして、彼の老婆は周章しく鹿之助の傍へ來つて袖に縋り 婆「れ武家様何うか彼の孫をれ助けなすつて下さいまし、不愍なもので御座ひます、中々惡ひ事をしやうと云ふ心がけは無いもので御座ひます、彼は妾の孫で御座ひます、妾がありますばかりに遂に困窮を致しまして心にもない盗みを致しました、夫も度々致した譯では御座ひません、先頃妾が風邪の心地で枕に就て居りました時に、遂に困つて一二本木を取たので御座ひます、併し一度でも人の物を盗まして は、何んと致されましても申し譯が御座ひません、併し未だ二十歳にもなりません孫を火あぶりに致し、見る前で命を取られましては誠になけかわしふ御座ひます、何うかれ武家様れ助け下さるやうれ願ひ申ます」と之を聞きました鹿之助 鹿「實にも不愍のものだコレ名主 名「ヘエ 鹿「其木は實買と云ものがあるだらう 名「左様で御座ひます、此木は村中で持て居ります木で御座ひます、何か村で金に困る事が御座ひますれば、此木を賣まして村中へ其代金を割ふつて渡すので御座ひます 鹿「成程價は何程のものであるか 名「左様で御座ひます五百位ゐは扱まして御座ひます 鹿「ム、不愍の次第である、然らば夫を拙者が買取て遣はす、何うか其罪をゆるしてくれ 名「左様で御座ひますか、左様して下さいますれば彼の命を取る事は御座ひません 鹿「然らば之を取らする」と懐中より砂金を取出して 鹿「是は價一貫文には當らものである五百文と申して見れば半分は多いが、村中の者の酒代として取て置け……」右の事を村中へ申し聞せる 鹿「さう〳〵彼が縄を解て遣はせ」と何んと馬鹿々々しい話もあればあるもの、五百の錢で焼殺されて了ふ處であるが、一貫に足ない錢で火あぶりにされやうと云ふ、此頃の有様は實に今より考へて見ればれかしい位ゐなもの、片田舍などでは錢を見られません、只今では實に金銀貨幣が殖ましてざんナ處へ參りましても錢が無くてはならない様になつてまゐりました、其時分は無くても居られました世の中、然れば一同の百姓が之を聞まして 百「夫れは宜つた朝飯前に五百の錢が儲かるとは有難エ、夫れぢやア早く片附て仕事に出べエや」と彼の男の縄を解て百姓はドン〳〵往てしまひました。



東京電報（十五日）

▲英國戴冠式參列艦 英國戴冠式に參列さるべき我皇族は東伏見宮又は同若宮兩殿下の由にて島村中將或は村上少將は軍艦鞍馬及び利根を率ゐて渡英する筈なるが其經費八十萬圓は追加豫算として提出さるべし

▲皇族會議 明十六日宮中に於て皇族會議に附され諮詢せらるべき皇族財產令は總て八十三條に成れりと

▲三南京元兩線の速成 十一年計畫なりし三南及び京元の兩鐵道は五年を以て全部完成することゝなり

▲朝鮮來年度歲出入 若槻大藏次官は昨十四日政友會に於て各種の特別會計に付き說明するところありしが朝鮮は歲出入四千八百四十七萬圓にて昨年より百三十五萬圓の增加なり

▲本日の鐵道會議 既報の如く今十五日鐵道會議開催せられ廣軌式採用の件附議されたり

▲鐵道會議 例年鐵道會議召集の際は期日前三日に議案を送附する例なりしに拘はらず本年は其手續を爲さゞるより民間側議員中には如何に秘密主義を嚴守するとは云へ餘りに踏付ける仕業なりと物議を釀し居れり

▲各派協議會 長谷場議長は來る十七日午前十時より議長室に於て議席及び衆議院規則改正其他二三事項に就き各派協議會を開催すべく各派に代表者出席方を通牒したり

▲絹糸業者の當年 昨今の絹糸相場は三十年來の高價にして福島、金澤、群馬等の養蠶製糸家及び之れに伴ふ商工業者は頗る潤澤に年末にも拘はらず不景氣の嘆聲を唧つものなし殊に先年の安値に生產費を縮少したる事とて昨今の高價は一層の潤澤なりと

▲年末と金融市場 近頃閑散を極めたりし金融市場も漸次移動を始め弗々ながらも各銀行預金は漸次引出され割引日歩同コールも一錢八厘位にて日銀の貸出しは十日前に比し百万圓增加せりと

▲川村大將の參內 東京衛戍總督川村大將は來十七日參內謁見仰付らる

▲平井副總裁歸朝 歐米漫遊中の鐵道院副總裁平井晴二郞氏は明十六日橫濱着港歸朝の旨無線電信にて報告ありたり

▲獨武官の着任 駐剳獨逸大使館附武官陸軍大佐フォイシャー氏新任來着に就き同國大使は昨日同氏同伴參內謁見仰付られたり

▲河內の就役期 橫須賀海軍工廠に於て建造中の戰艦河內は來年十月迄には艤裝工事完了して就役の筈なりと

▲松花江の交通杜絕 林領事より外務省への着電によれば松花江は漸次結氷と同時に交通は全く杜絕したるが來月に入れば安全に氷上を人馬車輛共通行するに至るべしと

▲小宮氏兼任說 前宮內府次官殘務取扱小宮三保松氏は勅任一等の宮中顧問官に任命され近く李王家職制發表と同時に李王家次長を兼任すべしと

▲文官の定期敍勳 文官の定期敍勳は來る二十五六日頃發表の都合なるが今回敍勳せらるべきは三百餘名なりと

▲同志記者總會 同志記者會は來十七日幹事會を開きて對議會問題を協議し尙は近々總會を開會する筈なりと

▲ユニテリアン致派 英米ユニテリアン教會にては今回東洋方面に大布敎を計劃し近々布敎師を各方面に派遣する事に決定したりと

▲北小路家の襲爵 故子爵北小路彰氏の嗣子三郞氏に對し昨日家督相續襲爵仰付られたり

▲德川公爵の襲爵 公爵德川慶喜氏家督相續人德川慶久氏は昨十四日家督相續襲爵仰付られたり

伯林電報（十五日）

▲リ市再び暴動 ブラジル國リオデジヤネロ港に於て再び海兵暴動せしも短時間にして鎭壓せられたり

北京電報（十五日）

▲清國海軍官制 海軍部官制項目發布せられたりしが大臣副大臣參謀及參謀官秘書官若干名を附し八司所を置き軍政軍務の二司は各五課に別たれ軍貯軍修の二司は各三課に軍事、軍法、軍醫の三司は各二課に主計所も同二課に分ち各課とも正副所長を置けり

雜報

●清國借欵と日本 北京來電によれば清國政府は最初英米獨佛の資本家間に取極めたる借欵に日本の參加する事を承諾せりといふ

●清國婦人の活動 喀喇沁王妃の主宰にかゝる支那婦人會は十一日相會し孔夫人は蓄妾制度の惡習慣を打破することに就き演說をなし二百餘名の出席婦人は蓄妾制度を廢止する件を資政院の決議に附し之を實行する爲め請願書起草の件を議決せり

●綏海鐵道決定 豫て計畫なりし哈爾賓より綏化海倫に至る鐵道は黑龍江省諮議局會議の結果愈々五百万兩の株式組織にて敷設すべきに決し追て株金募集の筈、之を耳にしたる外商等は目下其の引受運動中なるが中にも某米國資本家は最も熱心なる運動中なり

●清國陸軍大擴張 陸軍部は舊練軍を全廢し宣統六年迄に三十六鎭を完成し尙は數年內に六十四鎭に增加する計畫中なり

●吉林領事館落成 吉林帝國領事館落成し十一日盛大なる落成式を擧げたり二十日移轉する筈なりと云ふ

●寺內總督の歸期 寺內總督の歸期に就ては屢々報道したる處なるが今確かなる筋より聞く處によれば來る二十日午後三時東京出發馬關より光濟號にて釜山に上陸同日釜山發臨時列車にて廿四日當地に着すべしと

●清國公使の北上 汪清國公使は豫定の如く今十五日午前九時十分南大門發列車にて新義州に向へり總督府よりは本多通譯官隨伴したり

●宇佐川總裁の歸期 宇佐川東拓總裁は廿二日頃東京出發歸任す可しと

●榊原前參謀長 十四日夜歸任せり

●大西軍醫部長 十四日夜歸任せり

●辯護士規則發布 既報の如く在朝鮮の辯護士規則は十五日制令第十二號を以て公布せられ即日より施行せられたるが本規則によりて辯護士たることを得る者は內地人に在りては辯護士法に依りて辯護士たることを得るもの朝鮮人に在りては朝鮮人辯護士試驗に及第したる者又は朝鮮人にして舊韓國裁判所舊統監府裁判所の判事、檢事又は舊韓國の辯護士たりしものに限り舊理事廳時代に於て存在したる特許訴訟代理人の如きは全然認められざるが如し

●犯罪即決例發表 十五日制令第十號を以て警察署長又は其の職務を取扱ふ者の所轄管內に於ける權限に屬する拘留、笞刑又は科料の刑に該るべき罪三月以下の懲役又は百圓以下の罰金若は科料の刑に處すべき賭博の罪及拘留又は科料の刑に處す可き刑法第二百八條の罪區裁判所の裁判權に屬する事件にして三月以下の懲役に處す可き刑法大全第五編第九章第十七節及第二十節の罪區裁判所の裁判權に屬する事件にして三月以下の懲役禁錮禁獄若くは拘留笞刑又は百圓以下の罰金若は科料の刑に處すべき行政法規違反の罪等第十一ヶ條より成る犯罪即決例發表せられたり該令施行期は來る四十四年一月一日なり

●鐵道貨物盜難注意 幸ひ朝鮮鐵道にては斯くの如き例なきも內地にては例年々末に際し鐵道貨物の盜難增加するより鐵道院は特に左の注意を發せり

貨物激增に伴ひ當然事故の頻出するは每年の例にこれあり既に二三の驛所より被害の報告に接したり爲に當院の被むる損害は勿論荷主に對しても多大の迷惑を與へ一般營業上にも影響を及ぼす次第につき之が事故を豫防する點において驛長主任は部下を督勵し被害無き樣適當の處置を取るべく且從事員は最も此點に留意し執務上遺憾無きことを期せらるべし

●內務部廳舍移轉 光化門前の內務部が增築總督府廳舍に移轉すべきことは屢報の如くなるが愈々來る十八日（日曜日）を以て學務局と共に移轉することに確定したりと

●京龍の新就學兒童 來四十四年度新學期定齡就學兒童に就て當局の取調を聞くに龍山三百七十名、京城五百五十名合計八百二十餘名なりと

●校長定例會 十五日は當民團立學校長定例會に付き午後一時より民團樓上に於て開議し古城民長も臨席して增設小學校其他の問題を協議したり

●新事業實查會 消息當民團來年度新事業の實查は其後着々進行し本町通り街幅取擴げの實測は畧々結了し目下は比較線測量中なるが來廿二三日頃まで可成全部を卒業し年內に一回なりとも委員會を開催したきものとて當事者は頻りに部下を督勵し其進行を急ぎつゝあり

●警務總長邸晩餐會 明石警務總長は今回豫備となりたる田主計正等を正賓とし警務總監部の各課長を十五日午後六時より官邸に招きて晩餐會を催したりと云ふ

●主計正等送別會 十六日午後六時京城ホテルに於て今回豫備又は轉任せられたる田中主計正篠崎獸醫正白石黑沼の兩主計正三井木下の兩少佐等の爲め送別會を開く由なるが來會者百餘名に上るべしと

●靑田兵器支廠長 朝鮮駐剳陸軍兵器支廠に轉補せられたる前大阪陸軍兵器支廠長砲兵中佐靑田幸吾氏は後任者砲兵中佐小林紳八郞氏十一日着任したるを以て十二日より事務の申繼ぎを始め十五日同地出發來任すべしと云ふ

●黑石副官の歸任 一時歸鄉中なりし京城憲兵隊本部附副官黑石憲治氏は十六日午前歸任すべしと

●光濟號艦長招宴 和田觀測所長濱航路管理社長主催となり一昨夜光濟號新任艦長岡村少佐を鱗樓に招待し宴を開きたり因に同號は十五日朝釜山へ向け出發せり

●東拓新顧問部 大內代議士顧問 中央政府の新方針により東洋拓殖株式會社が改造さるべきは事實なるが右に付會社は半島拓殖の事業に智識と經驗とを有する人士を網羅して顧問部を新設する由なるがまづ第一に國民黨所屬代議士大內暢三氏を顧問として入社せしむべしと云ふ

鍾路電車軌道問題に付

一市民

鍾路通りと云へば路の幅が四五十間もある、ソコへ今度日韓瓦斯電氣會社が從來の單線を改め複線と爲すに付て工事を始めようと云ふのだソウだが、右に關し工事認可の當局者間に異つた意見が二ツあるソウだ、ソコで異つた二ツの意見とは何ぞと云へば一ツは從來の通り軌道を街路の片側へ敷くが良いと云ふのと一つは軌道を街路の中央に敷くが良いと云ふのだ、斯く當局者間に二つの意見が立てられ爭はれるのも畢竟は當局者が市內交通機關の改良に熱心なる所以で決して咎むべきではあるまい、只だ茲に考へねばならぬ事は如何に當局者が熱心に研究して與れればとて交通機關は素々市民の物だ、之れが軌道の敷設等に關しては市民の利害上當局者の研究にばかり任かせて置く譯にも行かまい。頃日朝鮮人側の商業會議所は鍾路電車軌道問題に關し一の決議を爲し、右の決議に基き開申書を各方面に飛ばしたが其開申書に曰くコールブランは如何なる理由に因つてか軌道を片側に敷いたソレが爲め今日迄に軌道に接近せる商家の小兒大人にして電車の爲に轢死負傷の慘禍に罹り者十一人なり、加之軌道側の商家は他の側に比して顧客少なく爲めに行立たずして業を廢せるもの不尠之れ畢竟商家の出入に前記轢死負傷等の危險あるを以てなり、尙其上に軌道偏在の害は軌道と商家との距離が僅かに一間餘のみなるを以て降雨の場合には雨水商家に流入して非常なる損害を及ぼすと、其他軌道偏在の有害なることに關し種々の理由を述べ終りに於て改築軌道は中央に敷くべきものなりとして結べり。

自分は右開申書を一讀して其主張と希望とを尤もと思つた、熟々內地各市は勿論世界の各都市に於ける電氣鐵道の軌道を見るに幷が街路の片側に偏敷されてあるものは殆んどない、コールブランが何が爲に現在の如く片側に敷たか知らないが若しも日韓電車にして改築複線となすならば其四條の軌道は朝鮮商業會議所の希望の如く中央に敷くが良いと思ふ。當局者中の片側論者は如何なる理由の下に偏敷を主張するか知らぬが今後の軌道を中央に敷けば朝鮮商業會議所開申書中に記せるが如き害は除かれ電車は今日よりは速力を增して走ることが出來る樣になる、嗚呼害が除かれて電車が速力を增すとすれば之程結構な事はない。故に自分は一市民として市民の立場から軌道中央敷設を可なりとする。

●上旬の關門貿易 門司十二月上旬の貿易高は輸出十九萬二千圓輸入五十二萬八千圓にして一月累計輸出千四百万圓輸入千七百六十六萬餘圓差引入超三百十七万餘圓を示し下關は輸出一萬八千圓輸入一万一千圓差引一月以降累計に於て六百四十三万餘圓の出額を見せたり尙朝鮮貿易額は九月以降累計門司は入超一萬五千圓下關出超三百七十四萬圓となれり

●朝鮮鐵道運輸狀況 朝鮮鐵道管理局の調査に依る乘客及貨物の運輸狀況は昨年に比して頗る良好の成績を示しつゝあり即ち本年十月の運輸收入は金四十五萬四百三十圓三十一錢にして之れを前年の同月に比較すれば十一萬二千一百六十七圓六十八錢の增加にして尙は十一月の收入額は四十三萬八千八百三十四圓六十二錢にして前年同月の收入は三十四萬四千二百八十八圓十六錢にして即ち九萬四千五百四十六圓四十六錢の增加なりと而して何れも概算なりと雖も此の逐年盛を來しつゝあるは當事者の奮勵は勿論なるも日鮮交通の繁劇は慶賀すべきなり

●廣梁灣工事中止 廣梁灣鹽田工事は過日來の寒氣にも拘らず尙工事を續行しつゝありしが昨今の嚴寒にて工事全く不可能となりたるを以て愈々中止するに至りたりと云ふ

●平南の府尹郡守會議 平安南道廳にては來年一月十日より五日間事務打合の爲め平南管內府尹郡守會議を開始

●北滿に於る撫順炭 東淸南滿連絡運輸協定の結果撫順炭の北滿輸入漸次增加し目下哈爾賓なる日滿商會の手により賣捌かれつゝある石炭額は一日平均三百噸內外にして益々好況に向ひつゝありとの事なるが哈爾賓に於ける各製粉所は既に薪材を石炭に來換ゆべく機關に改造を加へ又或る區間の東淸鐵道機關車にも撫順炭を使用せむとする傾向ありとの事なりされば滿鐵會社が曩きに七万餘圓を投じたる家屋を無料にて使用し月々一千餘圓の補助を受けつゝある日滿商會の現在將來に於ける利益は莫大なるものなるべしと羨望しつゝある向少からずといふ

●東拓と營林廠 東拓會社は彼の新義州なる營林廠の事業經營を其の手に收めんと計畫しつゝありと傳へらるゝ然るに之れに對し同社總裁秘書役長は絕對に事實を否認しつゝあり

●大阪取引所納會 大坂株式外三取引所の年內納會及び明年初立會時日は左の如し

▲當限納會 株式（二十二日前場限り）米穀（二十日同上）三品（二十一日同上）油（二十三日同上）

▲當限受渡 株式（廿四日）米穀（二十一日）三品（廿四日）油（廿三日）

▲年內納會 株式（前場限り）米穀（二十六日同上）三品（二十七日同上）油（二十七日同上）

▲初立會 株式（一月四日午前八時）米穀（四日午前七時）三品（同四日午前六時）油（同四日午前八時）

●大坂に於ける朝鮮米雜穀

▲十二日（各一石、單位錢）

銘柄	價
釜山精	一五二〇
同上	一四二〇
同中	一三八〇
同並	[illegible]
同玄	[illegible]
改良上	[illegible]
同玄	[illegible]
馬山改	[illegible]
木浦上	[illegible]
同玄	[illegible]
群山上	[illegible]
同玄	[illegible]
仁川白	[illegible]
同中	[illegible]
同並	[illegible]
改良玄	[illegible]
同上	[illegible]
南浦改	[illegible]
同上	[illegible]
釜山	九〇〇
新大豆	[illegible]
龍山同	九四〇
仁川大	九一〇
同中玉	八六〇
同小玉	八五〇
南浦大	九四〇
同中玉	八〇〇
同小玉	八四〇
元山大	九二〇
同大豆	九五〇
同次	九〇〇
小豆	品切
赤大玉	八八〇
同黑並	品切
同並	[illegible]
釜山	八八〇
小麥	[illegible]
仁川同	八六〇
南浦同	八七〇

▲相場電報（十五日）

▲大阪株式（明治町西村支店着電）

銘柄		前日後場（二月限）	當日前場
▲神戶電鐵	寄	三七、八〇〇	出來不申
	引	三七、八〇〇	三七、七〇〇
▲京坂電鐵	同	五八、九〇〇	五九、〇〇〇
	同	五八、九〇〇	五九、〇〇〇
▲鐘淵紡績	同	一〇四、五〇〇	一〇四、五〇〇
	同	一〇四、五〇〇	出來不申
▲日本郵船	同	九七、四〇〇	出來不申
	同	出來不申	九七、八〇〇
▲東京株新	同	三一、六〇〇	三一、一〇〇
	同	三一、四〇〇	三一、六〇〇
▲大坂株式	同	四一、六〇〇	四一、二〇〇
	同	四一、〇〇〇	四一、六〇〇
▲取引同直	同	一六〇、一〇〇	[illegible]
	同	一三九、六〇〇	一三九、六〇〇

▲大阪期米（十四日）▲十二月寄十四圓六十四錢止出來不申▲一月寄六十九錢▲止七十一錢▲二月寄十五圓五錢止十五圓一錢▲後場十二月寄十四圓六十錢止同上▲一月寄六十四錢▲止六十一錢▲二月寄十五圓一錢▲止十四圓九十七錢●同（十五日）▲前場十二月寄十四圓五十九錢▲一月寄六十一錢▲二月寄九十六錢

▲仁川米豆取引（十四日）▲前場十二、一月寄出來不申▲二月寄九圓七十三錢▲最高七十三錢▲最低四十九錢▲止四十九錢▲後場十二、一月寄出來不申▲二月寄九圓四十六錢▲最高五十錢▲最低四十一錢▲止四十一錢●同（十五日）▲前場十二、一月寄出來不申▲二月寄九圓三十八錢▲最高四十一錢▲最低三十二錢▲止三十八錢

▲東京期米（十四日）▲前場十二月寄十五圓十五錢▲一月寄二十五錢▲二月寄五十錢●同（十五日）▲前場十二月寄十五圓八錢▲一月寄二十錢▲二月寄四十五錢

▲仁川港の船舶出入▼

▲音羽丸 十六日橫濱より入港
▲安東丸 同 長崎へ向出港
▲津州丸 同 橫濱へ向同
▲能登丸 同 鎭南浦へ同
▲大有丸 同 大坂へ同

▲京城手形交換高▼

	枚數	金高
十二月十五日	四二二	一六二、一五四、五一

▲治外法權▼ 嘗つて米國の渡淸實業團が米淸商業同盟を淸人に向かつて提議したことがあつた、爾來同盟は事實となつて現はれぬが米淸關係は一層密接になつた▲本紙は過日日淸同盟の必要を說いた、本紙の同盟は商業同盟ではない、總ての點に於て利害を共にするホントの同盟だ▲韓國銀行條例に代はるべき朝鮮銀行條例が出來るソウだ、同時に韓國銀行は朝鮮銀行と改稱さるゝソウだ、サテ條例が變つた曉には朝鮮銀行の位置はドウなるのか▲位置と云へば現在の重役等にとつては銀行の位置よりは自家の位置の方が心配だ、條例變更と共に地震が無ければ良いが▲今度門司の停車場構內に商品陳列棚を造るソウだ、コンナ事は外國では古くからやつて居るのだが日本では始めての事だ、停車場の商品陳列、廣告としては此上もない事だ、門司驛に倣ひ南大門、釜山、平壤等の大驛に於てヤツて見てはドウカ▲目下舞子御別邸に在らせらるゝ有栖川宮殿下は櫻井某の名作卍字の一刀を東宮殿下に獻上遊ばさるゝソウだ今や古刀、新刀鮮少からんとす、名工櫻井の出たのは祝すべき事で、斯る話を聞いたら刀劍好きの明石將軍などは嘸喜ぶであろう▲明石將軍と云へば身なりなどには一向構はぬ人で軍服でないときには古い紋附と嘉平次地の破れ袴を着けて居る、或人之を見てあまりにヒドイと將軍の友人に話したら、其友人の答が左の如しだ▲明石君が紋附や袴を着ける樣になつたのは彼れとしては餘程ハイカラになつたのだ、其以前北白川宮殿下の副官として臺灣に居た頃などは古紋附や破れ袴どころか着換へのシヤツさへ持たなかつた位だ▲ある時明石君の軍服を宮殿下御愛養の猿が引破つた、明石君は着換がないから困まつた、師團長の宮殿下は非常に氣の毒がられ猿を叱つて明石君を慰められたものだ

●英清阿片問題 清國外務部は英國駐在公使劉玉麟氏に阿片[illegible]に關し阿片輸入を禁止せしむることに關し英國政府と交涉を開始すべき旨訓令を發したる由は既報の如くなるが右の實否は未だ確聞する所なきも過般資政院[illegible]に提出[illegible]時代に決定せられたる煙條令の期限を短縮し十ヶ年を期して阿片の輸入を禁止するの英清阿片條約を廢棄し以て禁煙速成の目的を達せんが爲めに國民[illegible]したる結果遂に彼等の希望通り英清阿片條約を廢棄すると共に今年舊曆十二月限り阿片栽培を禁じ明宣統三年六月を以て內地の輸入を絕ち同年十二月限り[illegible]の議を可決するに至りし次で阿片條約破棄に關しては之を外務部に迫りて實行せしむることを決議するに至りしを以て政府も止むなく資政院の議を容れて今回條約廢棄に關する交步を開始するに至りしものなるべし阿片禁止を一日も早く實行せんことは清國の爲めに慶賀すべきことなるも條約の破棄は事外交上の問題に屬すると共に從來印度の阿片商人が同條約に依り年々利益を得つゝありしものなれば今回直ちに之を廢棄せんことは商業上多大の損害を蒙るべきを以て同問題の解決は容易ならざるべしと

●無煙炭輸送休止 平壤鑛業所に於ける無煙炭輸送は過日來大同江の結氷したる爲め不可能となりたれば無據去る十一日を以て中止したる由なり

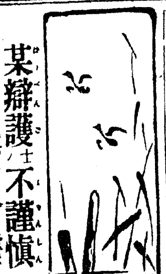
●英淸阿片問題

清國

外務部は英國駐在公使劉玉麟氏に阿片[illegible]絶對に阿片輸入を禁止せしむることに關し英國政府と交渉を開始すべき旨訓令を發したる由は既報の如くなるが右の實否は未だ確聞す[illegible]なきも過般資政院議員の一部[illegible]は光緒皇帝時代に決定せられたる煙條令の期限を短縮し十ヶ年を期して阿片の輸入を禁止するの英淸阿片條約を廢棄し以て禁煙速成の目的を達せんが爲めに國民禁煙會なるものを組織し資政院に提出したる結果遂に彼等の希望通り英淸阿片條約を廢棄すると共に今年舊暦十二月限り阿片栽培を禁じ明宣統三年六月を以て內地の輸入を絶ち同年十二月限り禁煙實行の議を可決するに至り次で阿片條約破棄に關しては之を外務部に迫りて實行せしむることを決議するに至りしを以て政府も止むなく資政院の議を容れて今回條約廢棄に關する交涉を開始するに至りしものなるべし阿片禁止を一日も早く實行せんことは淸國の爲めに慶賀すべきことなるも條約の破棄は事外交上の問題に屬すると共に從來印度の阿片商人が同條約に依り年々利益を得つゝありしものなれば今回直ちに之を廢棄せんことは商業上多大の損害を蒙るべきを以て同問題の解決は容易ならざるべしと

●無煙炭輸送休止

平壤鑛業所に於ける無煙炭輸送は過日來大同江の結氷したる爲め不可能となりたれば去る十一日を以て中止したる由なり



某辯護士の不謹愼

▽判檢事の名を濫用す

山口縣とかの出身辯護士にて旭町邊に住む某と云ふは鄕里に於ても辯護士の職に從事せし人なるが資産家の息子と生れし爲め在學中より隨分遊んだものにて卒業後司法官の職に就きしが間もなく辭職して辯護士を開業せしも持つて生れた放蕩者とて藝妓狂ひに親の殘した三萬有餘の資産を浪費せしのみか猶は幾何の借財さへ出來しにぞ土地に居るのも思はしからず種々運動の結果韓國法務院判事に任命せられ某地方裁判所民事部附となりしに付馴染の藝妓某を落籍し同伴渡鮮せしも後ち妻女や子息の渡鮮と同時に某所の溫突に圍ひ置きしが家庭此れが爲め圓滿ならざるより遂に上官の忠告を受け內地に送還して一段落を着けたる程の不謹愼の男なれば當地にて法官在職中あらうことか有るまい事か岩田辯護士より司法權委任と同時に退職して辯護士を開業するに就ても經營費として某地方裁判所より某控訴院に轉任せる何田判事を連帶人とし某會社より五百圓を借用せしまゝ債務を履行せず何田判事の迷惑は一方ならざりしのみか同氏轉任の原因は或は此れが動機なりしやの評判さへありと夫れは措き辯護士開業以來も以前の同列裁判官および檢事の名を利用し事件を引き受くる等の事あるは勿論とか茲に其の一例とも見るべきは旭町に居住する請負師淸水和平なる者振出人にて藤原商會中藤原熊太郎裏書人となり新宮洋行利光小三郎なる者より金三千圓借出したるに淸水に於て期限經過後に至るも債務不履行の爲め藤原に於て代辯せしに該證書は利光小三郎の手より都合あつて藤原に返り居らざりしが一方淸水は他の債權者より强制執行を受け動産の競賣となりしに利光に於て如何なる理由かは知らぬが該三千圓の債權證書に基き配當要求を爲し競賣得金の內より金五十餘圓を受領したるも該金は淸水に渡さず自己の取得と爲したるより淸水は憤慨して利光を相手取り詐欺取財の告訴を提起し一問題にならんとする際目下橫領罪被告人として、未決入監中の增本好三郎と兩人にて告訴取消運動を名目に檢事局某檢事は特別懇意なれば不起訴處分に運動す可しと不謹愼なる言語を弄し金二百五十圓を利光より受取り百圓を增本に分與し五十圓は淸水に返附し百圓は自己の謝金にとて事件を解決せしめたが淸水に返附す可き金五十圓までも自分に於て費消せしより淸水は憤慨して今度は同辯護士を相手取り告訴せんと莊子辯護士に依賴せしも同業者の關係云々より斷られ其の儘泣寢入となり居れる事實もあり（續）

●野中推弘は僞名

龍山

山榮町に紳士然として居宅を構へ土木建築請負業者たる野中推弘（三二）が旭橋通り三十一番戸池上普之助の居住せる家屋を擔保として金二千圓を貸與中に池上が大分縣別府溫泉に保養不在に際し池上の妻を欺罔し火災保險金の名目にて金百圓を騙取したる事件にて其筋に拘引されし事は既報の如くなるが京城地方裁判所にて豫審中の處野中推弘とは僞名にて栃木縣鹽谷郡大宮村字圓見三十四番地吉田淺吉なる事判明豫審終決して伊藤檢事の手にて公判に廻さる

●森勝氏妾の拘禁

神奈川縣鎌倉郡中川村字岡津小倉三太より書面を以て第一樓娼妓紅梅事きん（二二）に對し保護願提起せしを以て南部署に於て本人並に樓主を召喚取調たるにきん（二二）なる者は既に南山町二丁目森勝次によりて落籍され外妾として同棲中にてきんの實妹いし（十六）十六歲の當時即ち四十一年三月、三ケ年三百圓にて娼妓に抱へられしも年齡不足の爲め姉きん名義にて詐欺受鑑札なる事判明いしは公文書僞造犯として拘禁せられ目下關係者取調中なれば何れ教唆者出づるなる可し

●六人組の强盜

十四日午後七時半頃西部盤石坊翰林洞七十八統六戸禹聖謨（五二）方に六人の鮮人强盜戸を打ち破り押入り來り家人を縛し銀製指輪一個現金四圓外數十點（代三十餘圓）を强奪して逃走したりと

●生意氣なヨボ兵

日鮮併合後朝鮮人兵隊が駐箚軍司令部付日本兵と同樣になりし以來彼等は生意氣にして道路右側通行を巡査に注意されしも反面暴言を吐く等殊に酒幕其他娼甫屋等に於ての暴動は如何にも言語に堪へぬ不謹愼の由にて警官が說諭せんとすれは貴樣等に說諭受く可き身分にあらずと亂暴働く事は屢々の由なるが第一中隊附步兵一等卒玄基彥（三〇）が北部寺洞の酒幕にて非常の亂暴を働くより派出所巡査鎭撫せんとせしに暴行甚だしきより本署に引致したるに机を破棄し或は溫突に物を投付る杯非常なる亂暴働きしより第二憲兵分隊より憲兵出張身柄を引取りたりと

●贓品靴の展覽

北部警察署に於ては近來靴の盜難紛失するもの續々有るに依り特に贓品の靴を同署內に陳列し公衆の縱覽を許し被害者に返附する由

●賃錢支拂方說諭

原籍高知縣高岡郡墨池村字町屋四十一番地當時京城明治町三十七番地平民石職馬淵寅太郎（二〇）は十四日龍山錦町運送業趙福伊（三三）に對し石材運搬の賃錢支拂はざる廉を以て訴へ出でられ龍山憲兵分隊に召喚せられ支拂方說諭放還せられたり

●コソドロ

北部大安洞居住鄭某奉外一名にて明治町一丁目岡圓藏方に忍入り金九十圓を竊取したる事北部署刑事に探知され十五日檢事局送り

●龍山のボヤ

十四日午後七時三十分頃龍山桃山町朝鮮小間物商金在順（一八）より出火せしも他に延燒せずして同五十分頃鎭火したり

●大邱かるた會

大邱御幸町大邱かるた會は目下の處會員二十六名にして例會日は火曜、木曜、土曜にして出席者甚だ多く次會員にして技量なかなか侮るべからざる面々多く殊に憲兵隊小宅大邱驛河內山、後藤旅館主伊藤紙店新崎の如き三分間位にて取り盡くすと云ふ因に近く大會を開く由にて京城龍山より選手の遠征あるべき筈なれば當日の競技こそ見物ならんと云ふ

寒い職業（郵便配達）



●兒玉家の婚儀

十日午後一時神宮奉齋會にて兒玉伯爵家の結婚式あり新郎は伯令弟陸軍大尉兒玉友男氏、新婦は陸軍中將中村雄次郎氏令孃光子、石本陸軍次官夫妻之が媒妁者として同四時よりは富士見町富士見軒に親戚たる寺內子爵同夫人、岡軍務局長其他を招き披露の宴あり

●デビス博士追悼會

十六日午後七時より日之出町教會に於て同博士追悼會あり司會者米澤尚三にして順序は奏樂、讚美歌、聖書朗讀（星野德治）祈禱（辰川濱治）合唱、履歷朗讀（望月與三郎、市原盛宏、丹羽淸次郎）追悼の辨（コルチス、太田六兵衛、木原外七）頌歌、祈禱 米澤尚三にして後茶菓の饗應ありと

●三太のすき燒や

大和町三丁目井門の跡に長唄の上手淸華亭の三太が後見に立つたきよ壽と云ふすき燒やが出來たすき燒許りで無く時候に應じた意氣な淡泊した甘いれ手輕の料理は何でもかでもれまけに直段は彼れで儲けがあるのかと御客に首を傾けさせる程亦溫突ストーブ浴室の設備もあり殊に御客樣の便利を計り本町五丁目早瀨組の處から出で下さるれ客は人力車無賃論より證據



淸壽の後見淸華亭の三太

歌留多早取法（一）

▽巧手見る可らず

新年が近づいて來たので、諸連中は早やかるたの大練習に掛つてゐる、こゝに初心者の爲め早取法を少し書いて見やう。

一 暗記法

先づ最初は暗記法から話をしよう、暗記が出來たならば此遊びは誰れにでも出來るのである、暗記と云つた處で高が百枚の歌だから二三日もすれば樂に暗誦が出來る、然し此歌を暗記するに坊主が經を讀む樣に只すら／＼と讀み流す許りでは其效が薄い、然らば何如したら早くそして能く暗記の出來るかと云ふに自分の經驗に依れば次の方法が一番であると思ふ、先づ最初に札を頭字に依つて揃へるのである即ちアの部はアの部カの部はカの部と云ふ樣に大別して順次に暗誦する、此方法は至極輕便で又最も覺へ易い、今判り易い樣にカの部に就て具體的に話して見よう、カの部の頭字のつく札はと云へば總計左の四枚である。

かさゝぎの渡せる橋におく霜の白きを見れば夜ぞ更けにける

かくとだにゑやはいぶきのさし艾さしもしらじな燃ゆる思ひを

かぜそよぐ奈良の小川の夕暮は御禊ぞ夏のしるしなりける

かせをいたみ岩打つ浪の己れのみくだけて物を思ふころかな

以上注意して幾度も繰返して讀んだなら自然と上の句から下の句が頭の中に浮んで來る、即ち「かさゝぎ」のと讀むと「白きを見れば」と下の句が直ぐ頭に出て來る、之れで暗記は一通り濟んだのである、今度は之れを逆に繰る練習をやらねばならぬ即ち下の句を見て咄嗟に其上の句を思ひ出すのである「さしもしらじな」と云ふ札を見て瞬間に「かくとだに」を思ひ起す樣なものである一寸六ケ敷い樣であるが端唄一つ唸るよりは餘程易い「かくとだに」といへば「さしもしらじな」と云へば「かくとだに」とのべつに繰返し〳〵遣つていたら終いには下の句の札を見て上の句からでなければ讀めぬ樣な事になつてくる、決して不思議ではない初心の人は試みに遣つて見給へ、成程奇妙だと後で領くだらう。

今日の運勢

十二月十六日舊十一月十四日三碧赤口乙卯平△一白平和の日只旅行婚談に忌む金融の業に尤も吉△二黑勞多くして効少き日なり新事復雜事は見合せたるべし建築動土には好良△三碧諸事謹愼の事殊に旅行轉任婚談集團結社宴會に忌む△四綠擾亂多くして取締りなき日なり色情痴情の破れを戒しむ△五黃盜害紛爭避くべし建築動土に吉△六白障害多し新事轉更の事凶旅行轉任見合すべし△七赤の日諸事手控への事建築農業には進んで吉△八白徒勞に歸し易し金談取引貸借相談婚談尤も効擧らず△九紫快欣の日大抵吉不和火の元用意すべし（本町五丁目三一館判斷）

●天氣豫報

（自十五日午後六時至十六日午後六時）

晴れ

廣告

公告

第五十號

一金四十圓也 當民團小學校費へ寄付

右ハ旭町二丁目百番戸岩谷徹三郎殿ヨリ令孃フサ子ノ死去ニ際シ知人ヨリ寄贈サレタル香料ノ內寄附相成候條此段公告ス

明治四十三年十二月十五日

京城居留民團役所





●諸公債諸株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業
京城本町三丁目
大坂野村徳七代理店
田中友吉商店

懷中良藥
仁丹 主効
▲惡酔宿酔 ▲舟車暈 ▲頭痛目眩 ▲氣の鬱 ▲胸腹痛 ▲口熱口臭 ▲齒の痛 ▲音聲美し ▲酒質味増 ▲惡疫豫防



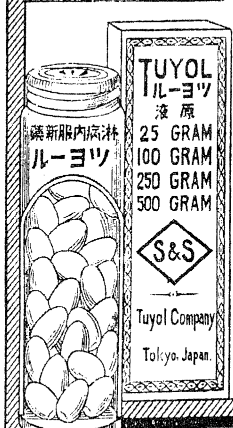
消化と毒けし
快々として樂まぬ人
仁丹飲めば
心底より愉快になる

▼逆上さ
▼便秘と
▼體毒には



梅毒新藥
に限る
代理店 京城 新井藥房

ツヨール
淋病 内服 新藥
◎世界の醫藥界に誇るべき一大發見!!
◎連續服用するもサンタル油バルサム劑の如く胃腸を害せず
▲本品は淋病消渴の内服新藥として藥木藥學士が多年の研究により始めて發見せられたるものにして、加ふるに下山、慶松兩藥學博士、朝比奈藥學士、岩川醫學士等の藥化學的試驗及び▲田中醫學博士、笹川醫學士、加藤、山田兩ドクトル等の臨床的實驗の結果▲本品は泌尿器疾患特に淋毒性膀胱炎尿道炎、消渇其の他一般急性及び慢性淋病に卓越なる効驗を有する現代に於て理想的の治淋内服新藥と確定せらる。
▲本品は原液五百瓦、二百五十瓦、百瓦、二十五瓦入膠嚢入百粒、五十粒、三十粒入の七種有り
▲全國到處の藥店に販賣▲說明書無料送呈



發賣元
東京市京橋區鎗屋町
ツヨール商會
振替一九二七・九、電新二三一五

特約店 京城本町一丁目 山岸天佑堂 電話三七二 振替口座朝鮮二〇三

人體之肥料 牛乳之數倍



寒さに向ふ今日
何人を問はず血液の循環は不充分となり隨つて貧血衰弱を起す基となる健康の方、病後の人を問ず今
滋養大關 次亞燐を
服用して健康の恢復を謀らざる可からず
効略 ▲貧血 ▲神經衰弱 ▲たんせき ▲肺病 ▲産前産後 ▲腸胃病
藥價 大壜壹圓 中五十錢 小三十錢 小包料 大十六錢 中十二錢 小八錢
●賣捌は各藥店にあり

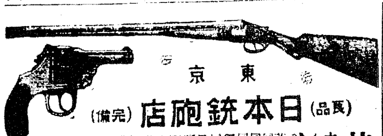
本舖 大阪道修町藥劑師
小西久兵衛
(電話東一二七番 南八八〇番)

前大藏大臣 法學博士 男爵 坂谷芳郎君題辭
警視總監 龜井英三郎君題辭
法學博士 和田垣謙三君序文
法學博士 志田鉀太郎君序文
—(製本既成)—

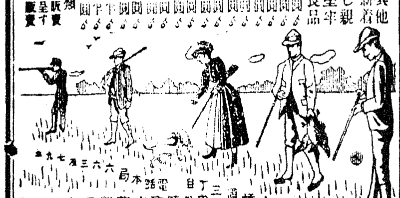
受驗者の福音
文官普通受驗速成全書
全壹册
本綴クロース金字銀模樣入紙數壹千四百頁の大册重量四百目縱七寸六分横五寸二分製本頗る美麗にして堅牢

●本書内容見本は郵券二錢送れ呈す
好評嘖々初版忽ち賣盡す增訂第二版出來

▲本書内容及登載科目▲民法(小澤博士)改正刑法(淺尾法學士)帝國憲法(小澤博士)行政法(武部法學士)府縣制(松倉法學士)市町村制(同上)民事訴訟法(岩谷博士)刑事訴訟法(細野法學士)會計法規(田中法學士)戸籍法(佐藤判事)國語漢文(渡邊文學士)作文法(富田文學士)本邦地理(水野農學士)本邦歷史(富田文學士)官廳簿記(不破重之)算數學(稻葉理學士)以上十六科目を各著者にて通俗平易に解說し而も難字には振假名を附し何人にも能く解し得る
增訂第二版 定價金參圓の所 特價 小包料共 金壹圓八十錢(朝、清、臺灣、此外二十錢增)に割引す
●發行所 東京神田淡路町壹丁目壹番地 電話本局四一八五 振替東京二五六六 統文館



東京 日本銃砲店(販品)(完備)

英國製二連銃 其他新着

東京市日本橋通三丁目 電話本局六三八九七 和洋銃砲火藥獵具類大販賣 日本銃砲店

當代に於ける代表的思想と演說
雄辯
拾貳月號
定價一册二十五錢 郵税一錢 六册一圓二十錢 十二册二圓十錢 郵税共
◎近東諸國の動搖…海外通信者 ◎怪物傳の一頁…鐵笛樓 ◎比律賓問題の眞相…大山生 ◎傍聽記…上毛人 ◎朱雲天 ◎法廷の辯論…花岡法學士
△時勢と英雄…田中早大講師
△題知らず…高田法學博士
△ビスマルクと其演說…坪井文學博士
△雄辯練習の三要件…鳩山法學博士
△日本に於ける演說…金子子爵
△首の振方…新渡戸博士
△學生と辯論會…長谷場代議士
△伊藤公と青年…江間代議士
△公爵展覽會日本審評…高津文學士
△恐歐病の蔓延…三浦信三
◯木戸孝允…河岡潮風 ◎カブールを憶ふ…青木法學士 ◎都下中學辯論大會 ◯十月十日…三宅雄二郎 ◎洪水白水郎 ◎大隈伯…一高學生 ◎渋史…岡田 ◎故梅博士追悼演說 ◎石頭に與へざる書…等
東京銀座一丁目 振替貯金東京二一九番
大日本圖書株式會社

諸官衙御用品
無雙 安心火止石油販賣
石油各種鑛油各種 卸部
炭、薪、酒、醬油 日用食料品一式 小賣部
京城南山町一丁目百十四番戸
奈良屋商會
電話六八八番

幸福なる生涯を營まんと欲せば先づ身體を强健にせよ
身體の强健を希望せば必ず
蜂印香竄葡萄酒を
飲用せざる可からず……
類似品あり
▼蜂印に注意あれ



然り本酒は身體の健康を助長する無二の滋養供給者にして如何なる虚弱者と雖も不斷之れを飲用せば心身共に快活を覺えて眞に
歡樂の境に活動する事を得べし
東京日本橋本町、近藤利兵衛

新荷續々着
一レモン 一アップル 一ヲレンヂ
一干葡萄 新着
洋酒食料品ハ固ヨリ彩色箱、化粧品等新着荷致候 大陳列場御一覽被下度候
手遊品類近着
明治四十三年十二月
京城大漢門側 エル、ロンドン商會(電話九九五番)
〇西大門外アストル、ハウス前に庭園廣き洋韓折衷の高等貸家あり水道附屬家賃三十五圓

朝鮮名産
鶴ノ箸
〇鶴の骨細工種々
〇鶴の羽細工種々
〇朝鮮土産品種々
製造發賣元 京城本町三丁目(電話二五〇 振替朝鮮四八) 海市商會
特約發賣元 京城本町四丁目(電話九五六) 日之出商行
特約發賣元 京城本町六丁目(電話二一〇) 西崎本店

義齒術全般
京城南山町二丁目(伊藤組前に入る)
電話
小倉三郎

特等石拔
糯精白米 精白米 大販賣
右卸小賣共精々勉强仕候
貿易商 ㋫ 京城本町六丁目
古迫商店
電話百十九番

見落給ふな
特別大景品附大賣出し
今般聯合大賣出の擧に座し當商會も加入罷在候間得ば倍舊の御厚情に預り度猶多年御愛顧にむくゆる爲め特別左の規定を設け大々的大賣出仕候間樣を見るに敏なる賢明諸彥陸續御來求あらん事を伏希仕候
特別規定
當商會より差出せし聯合景品劵(當商會スタンプ押捺あるもの)にて左記當籤者には下記の特別景品を呈す
一等、當籤者へは金口煙草四千本 二等、當籤者へは同樣一千本
三等、當籤者へは同樣六百本 四等、當籤者へは同樣五百本
五等、當籤者へは同樣三百本 六等、當籤者へは同樣二百本
七等以下三十等までの當籤者へは各百本宛 三十一等以下四十等までの當籤者へは各五十本宛
期日十二月十日より同月三十一日まで
(注意)贈與期限りあれば至急好機を逸せられざるは諸君の賢なる所なり
右歳末年始贈品に適當に付多少共御用命願上候
金口煙草各種 藥卷煙草各種
デーエス パテレス商會